

【紹介】 並松地区自治会 自主防災活動報告

2026年 2月15日

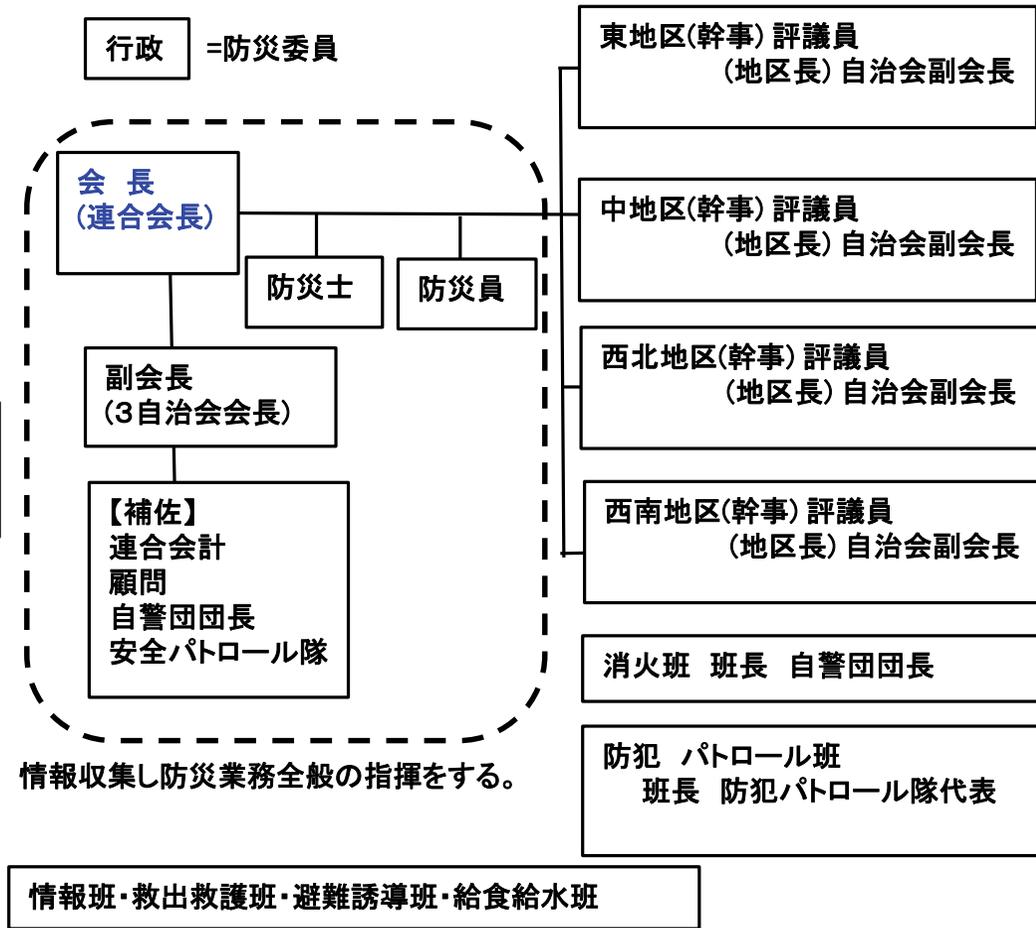
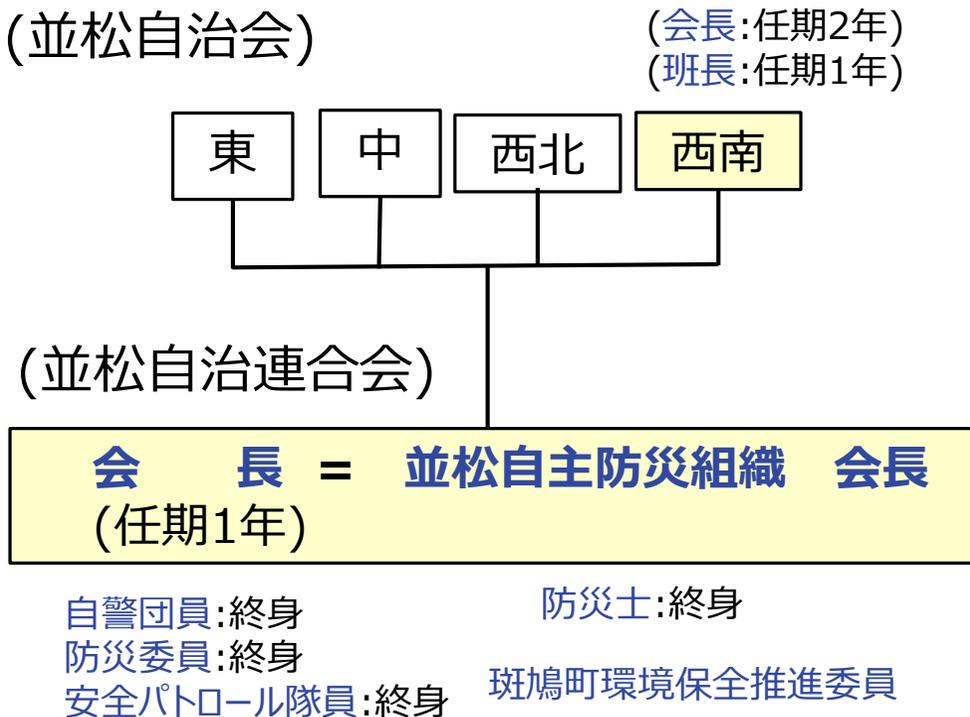
並松自治連合会 兼 自主防災組織

(会長) 西岡 正

○ 自己紹介と自治会・防災組織について

並松自治連合会自主防災組織図

対策本部の指揮のもと必要な応急処置等の災活動に従事



西岡 正

○ 並松地区と自治会の現状

<並松地区>



狭い道沿いに家が密集。

<自治会の状況>

西暦	年度	世帯数
2018	平成30年	289
2019	令和元年	283
2020	2年	280
2021	3年	275
2022	4年	270
2023	5年	264
2024	6年	245
2025	7年	244



- ・新築が少なく高齢化が進む。
- ・自治会の必要性を感じない。
- ・役が大変などの理由で自治会を退会。

自治会会員数が年々減少

自治会入会案内

防災、減災をテーマに

勧誘活動

- ・いざと言う時、困った時に便りなる人が身近にいますか？
- ・防災、防犯、生活に関係する問題が沢山起こっています。

並松自自連合会

自主防災組織図及び活動内容、緊急時の対応
自治会だより ⇒ 防災訓練の案内
救命講習会(心肺蘇生)の案内

自治会入会案内に記載し勧誘活動

○ 活動 減災を含めた防災活動

防災と減災の違いとは?

防 災

||

自然災害被害を「ゼロ」に
近づける備え

減 災

||

災害被害を「最小限」に
抑える備え

減 災の為の備え

自 助

(自分自身の身を守る)

- ・避難場所、危険区域の確認
- ・地震に強い家
- ・安全空間の確保
- ・備蓄、常備品の準備
- ・家族間の防災会議

自助と共助

共 助

・地域とのつながり

(身の回りの人を助ける)

日頃の近所付き合いを大切にして

日頃から声を掛け合い

“いざと言う時に助け合える関係”づくり

||

自治会

自治会活動の防災活動 = 減災を含めた活動

(災害被害を「最小限」に抑える備え)

○ 自治会・自主防災・減災活動の内容

活動内容全般

＜自主防災活動内容＞

2026.1.28

	災害内容	状 況	対 応	活 動
防災 減災	地震	阪神・淡路大震災から活動期に移行 ・今年になって震度3以上が12回 ・1/6 鳥取、島根 震度5強	自主防災組織	防災・減災勉強会 緊急連絡訓練 指示、連絡の徹底 防災士の育成
	氾濫、洪水	線状降水帯の発生 集中豪雨 台風		
防火	火災	山火事からの延焼 77年前法隆寺金堂で火事 過去から並松で大火事が発生	自警団	自治会消火訓練の実施 消火設備の点検 自主防災勉強会
防犯	犯罪	のぞき行為の発生 振込詐欺	自主防災組織 防災委員 安全パトロール隊	巡視活動 注意勧告 防犯旗の設置 役所への連絡、対応相談 救命講習会の開催(AED)
安全		工事現場周辺安全確認、指導 救命初期対応		

発表の流れ (目次)

○ 並松自治会の紹介

自治会の状況 並松自主防災組織

○ 発表者自己紹介

○ 自治会自主防災活動内容の紹介

- ・ 活動全般

- ・ 個々の活動内容紹介

- ・ (其の1) 安全パトロール隊:自治会内巡回活動

- ・ (其の2) 年末警戒

- ・ (其の3) 自警団の活動

- ①消火設備点検 ②勉強会及び活動訓練 ③防火訓練の実施

- ・ (其の4) 救命講習会の開催 (AED心肺蘇生)

- ・ (其の5) 防災組織の活動内容を紹介

- ①自主防災組織 ②緊急連絡訓練 ③防災 減災勉強会の開催

○ 最後に

- ・ (其の6) 防災・活動についての考え

○ 活動内容の紹介

活動内容の個別紹介

(其の1) <安全パトロール隊>

自治会内、巡回による防犯・防災活動

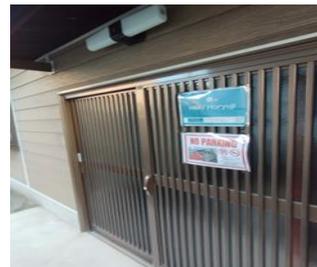
(6人) 月曜日から土曜日 夏季:6時45分～ 冬季:7時15分～



剥離アスファルトの補修
(対応依頼:建設農林課)



民泊業者への指導



空き家対策
(対応依頼:安心安全課)



安全旗のメンテナンス

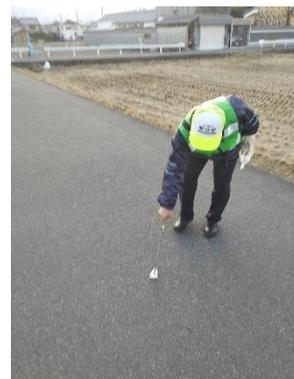


工事現場の安全確認

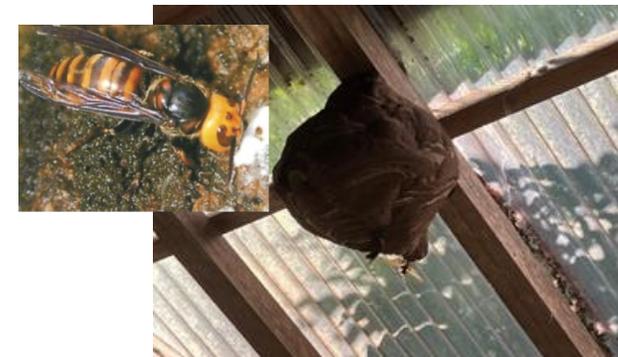


解体後の道路拡張依頼

ポイ捨てごみの掃除



スズメバチ駆除
(対応依頼:環境対策課)



○ 活動内容の紹介

活動内容の個別紹介

(其の2) <年末警戒巡視> 自治会内、巡回による防犯・防火活動

12/月28日(日)～12/30(日) 8人/日×3日=延べ24人



○ 活動内容の紹介

活動内容の個別紹介

(其の3) <自警団の活動:防火>

③ 防火訓練の実施 (20250601防災訓練)

2025年6月実施(参加者60名)

(目的) 初期消火活動の実践的知識とスキルの習得

(スローガン) 万が一に備えて、地域防災は全員の手で

消火栓確認実習



消火器使用実習



・地区内の消火栓、ホース格納箱を全員で確認

放水訓練



消火器使用講習

消火準備実習



○ 活動内容の紹介

(其の4) <救命講習会の開催 (AED心肺蘇生)>

西和消防署に講習(心配蘇生初級)

2025年7月実施 (参加者45名) 男性30名 女性15名



奈良県広域消防組合消防本部から全員が『救命入門コース参加証』を受理



並松自治会周辺のAED設置場所

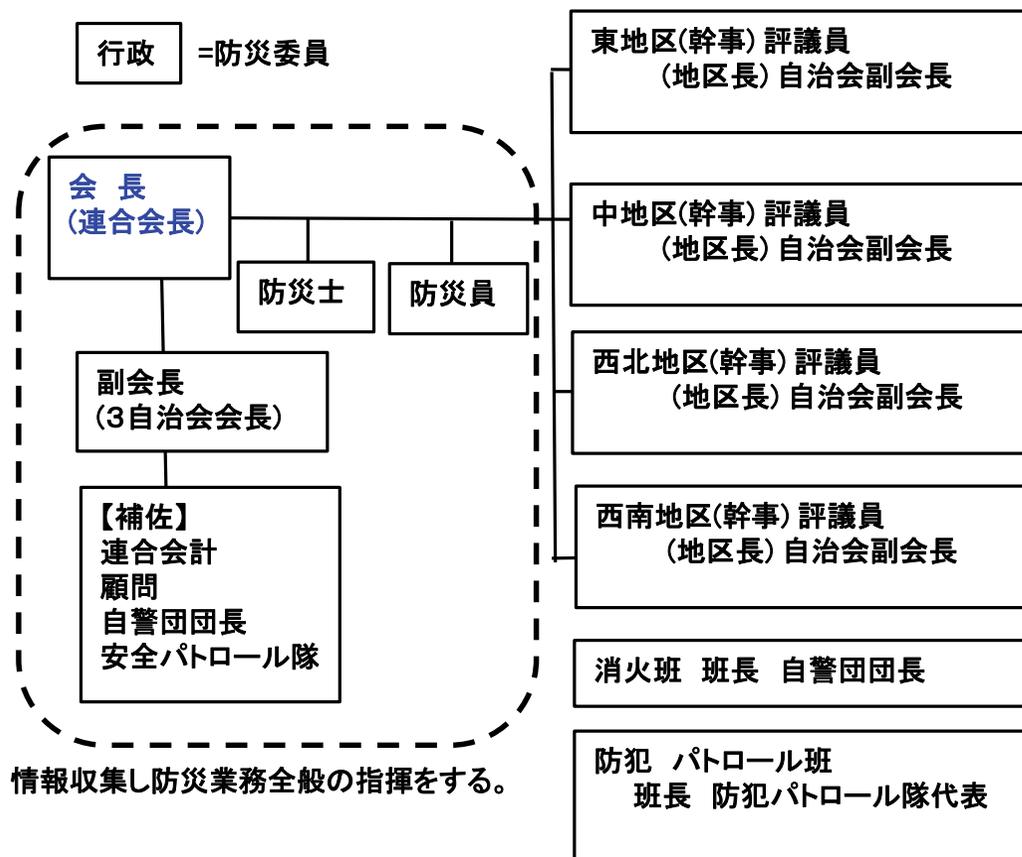
斑鳩町役場	1台
斑鳩小学校	2台
斑鳩幼稚園	1台
東公民館	1台
斑鳩文化センター	1台
中央体育館	1台
斑鳩東小学校	1台

○ 防災組織の活動内容を紹介

① 緊急連絡訓練の実施

① 自主防災組織

対策本部の指揮のもと必要な応急処置等の災活動に従事

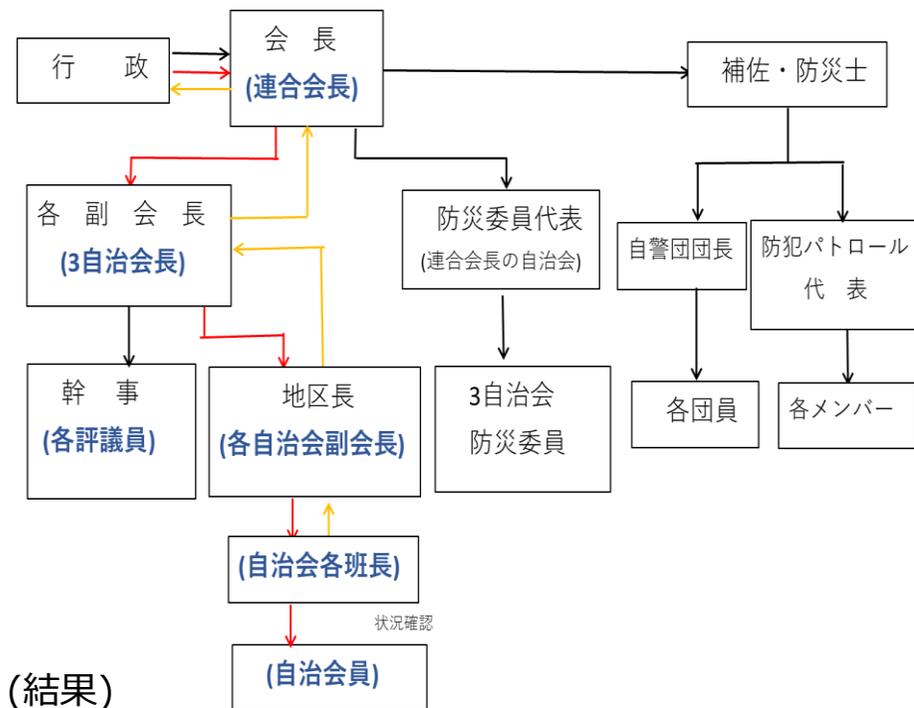


情報班・救出救護班・避難誘導班・給食給水班

各班を被害の状況に応じ編成を指揮する。

② 緊急連絡訓練の実施

班長は年度で交代 早い時点で実施しないと効果なし
緊急訓練を例年11月→6月1日に変更



(結果)

- 安否確認連絡を事前に電話番号登録し携帯電話で実施。(26軒で1軒のみ未完 達成率96%) 以前は50%以下
- 伝達時間 9:00連絡開始→9:20完了 (会長→役員→会長)

○ 防災組織の活動内容を紹介

③ 防災 減災勉強会の開催

斑鳩町防災ハザードマップ
(令和7年3月発行)より



並松地区

起こりうる災害	状況	影響
洪水、浸水	12時間総雨量316mm	一部で0.5m～3m
ため池洪水	慶花池氾濫	0.5m未満の浸水で

地震	南海地震、断層地震重なる	最大震度6～7
	1/1能登半島地震	震度7 マグネチュード7.6
	3/11東日本地震	震度7 マグネチュード9.0
	1/17阪神淡路	震度7 マグネチュード7.2

並松地区の 避難場所	洪水	がけ崩れ 土石流	地震	火事	内水氾濫	指定 避難 場所
		地すべり				
斑鳩小学校	○	○	○	○	○	○
斑鳩東小学校	○	○	○	○	○	○
斑鳩幼稚園	○	○	○	○	○	○

災害発生時に行う事・防災組織立ち上げ

<災害発生時の活動> 安心安全課様より教授に確認

- ア 出火防止と初期消火による延焼の阻止
- イ 負傷者の救出・救助、応急手当、
医療救護施設・医療救護所への搬送
- ウ 地域住民の安否確認
- エ 正しい情報の収集、伝達
- オ 避難誘導、早期に自主避難が可能な場合はその勧誘
- カ 避難所の運営、避難生活の指導
- キ 給食・給水、備蓄・救援物資の運搬・配分
- ク 災害ボランティア受入れの調整、
被害が大きい近隣地域への応援

日頃のイメージトレーニングと準備

自主組織会長の役割

- ・ 行政(役場)との連絡
- ・ 情報伝達早期の人員配置と活動指示

防災委員の役割 災害発生時には防災組織図
に従い指揮命令に準じて動く。

○ 最後に

自治会活動 = 近所同士の助け合い

いざと言うときに助け合う = 防災活動、減災活動、防犯活動

自治会活動 = 防災活動、減災活動、防犯活動

- ※ 自治会長として又は防災組織会長として
助け合う心を以って防災活動、減災活動また防犯活動に取り組む
結果、自治会の活性につながる。

ご清聴ありがとうございました。